



Daiwa Logistics®

大和ハウスグループ

省燃費運転（エコドライブ）を行い燃費を向上させましょう

あなたのエコドライブが会社をより強くする



エコ・ファースト企業
環境大臣認定

We Build ECO

DaiwaHouse Group®

2023年11月24日
大和物流株式会社
安全品質改善推進部

参照： 岡山日野自動車株式会社 エコドライブ講習会（2023/10/14） 資料より作成

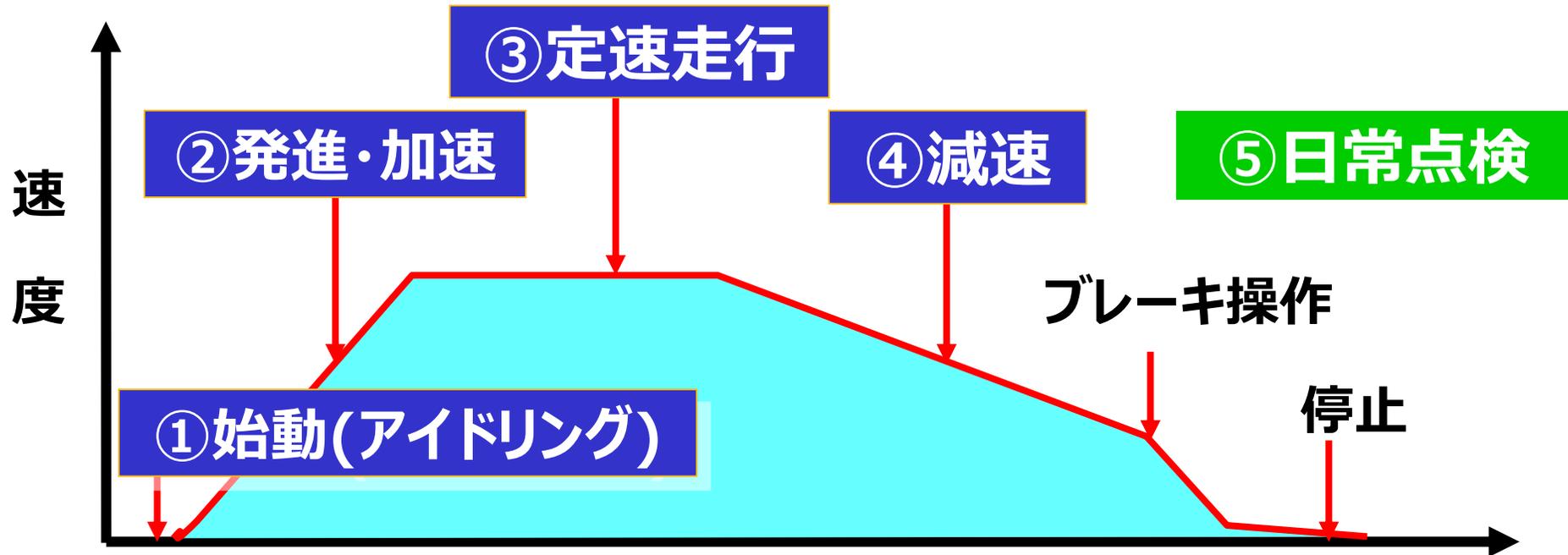
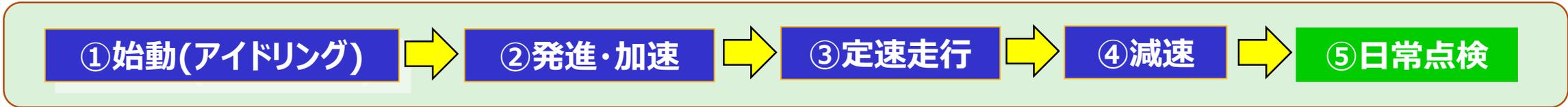
Daiwa Logistics

目的

- ・ 原価・経費が節減され利益増に寄与
- ・ 地球温暖化ガス排出削減による環境影響低減
- ・ 交通事故低減につながる

ポイント

省燃費運転ポイント (①~⑤) ⇒ 一連の運転操作と日常点検



（１）アイドリング運転は最小限にしましょう

※燃料消費量はエンジンの排気量により変わります

車種	排気量 (ℓ)	消費量 (ℓ/時間)	消費量 (ℓ/年間)	経費 (円/台)
大型車	9	1.0	900	135,000
中型車	5	0.7	630	95,000
小型車	4	0.6	540	81,000

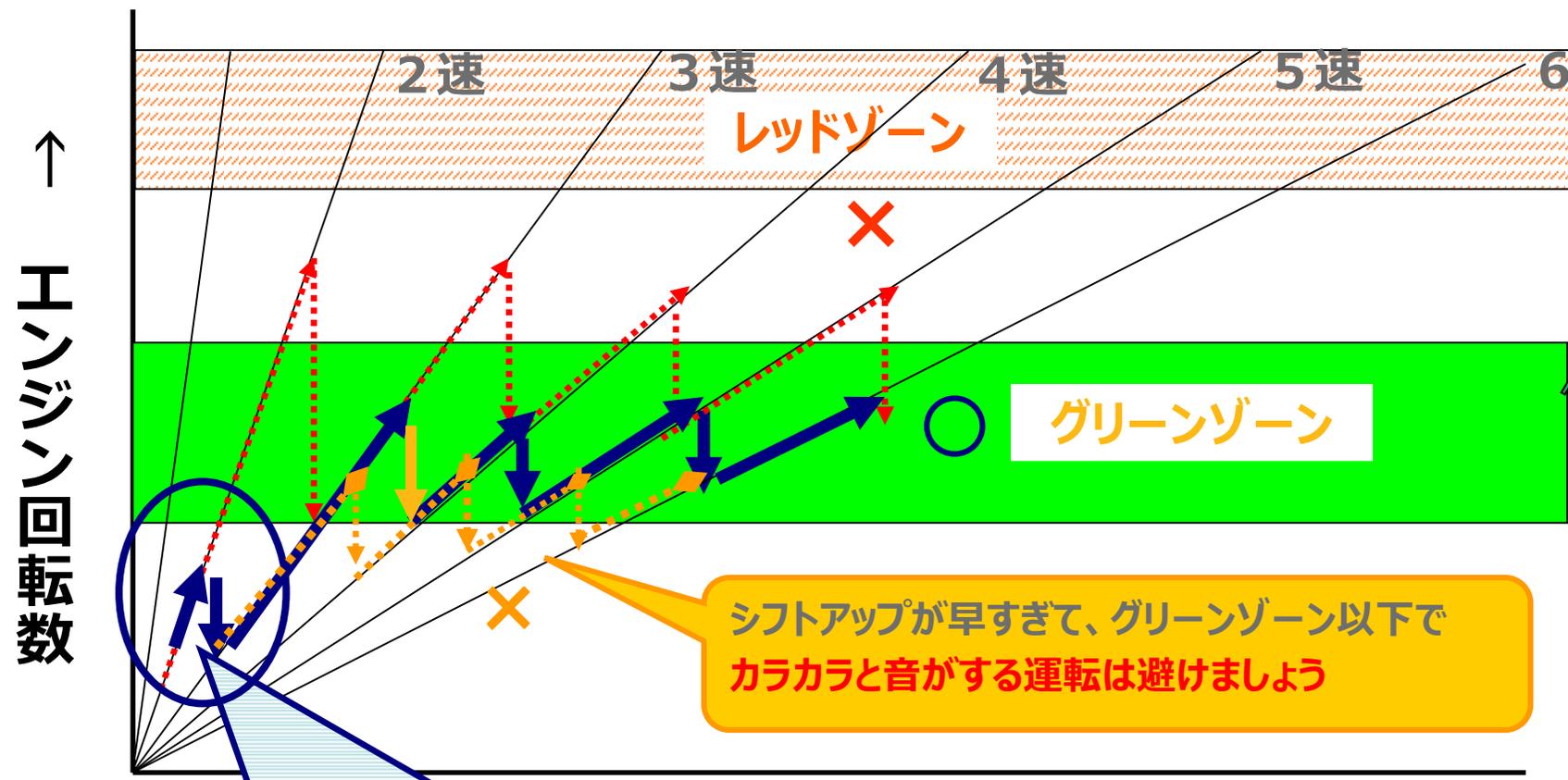
※ 25日/月稼働、アイドリング3時間/日、軽油単価150円/ℓにて試算

（２）空ぶかしは燃料の無駄使いです

車種	1回の空ぶかしで消費する燃料 (cc)
大型車	10～12
中型車	5～7
小型車	3～5

※ 燃費が7km/ℓの中型車では1cc当たり7m走行しているので、**1回の空ぶかしで35～49m走れる燃料を無駄にしていることになる**

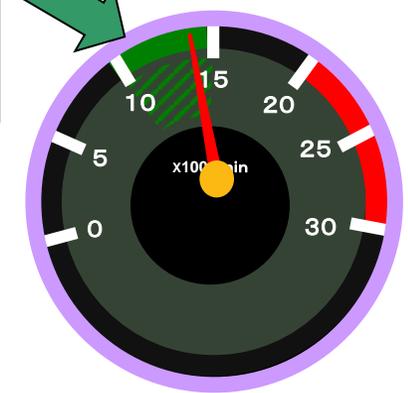
シフトアップは通常（平坦路）で行い
エンジン回転計のグリーンゾーン内速やかに行いましょう



発進、
加速時に
アクセルを
踏みすぎない

シフトアップが早すぎて、グリーンゾーン以下で
カラカラと音がする運転は避けましょう

発進ギヤはエンジン回転を上げず、
クラッチを繋いだら即シフトアップして、
3速以降はグリーンゾーンで速やかにシフトアップ



→ 車速

(1) 高速道路では速度に注意しましょう

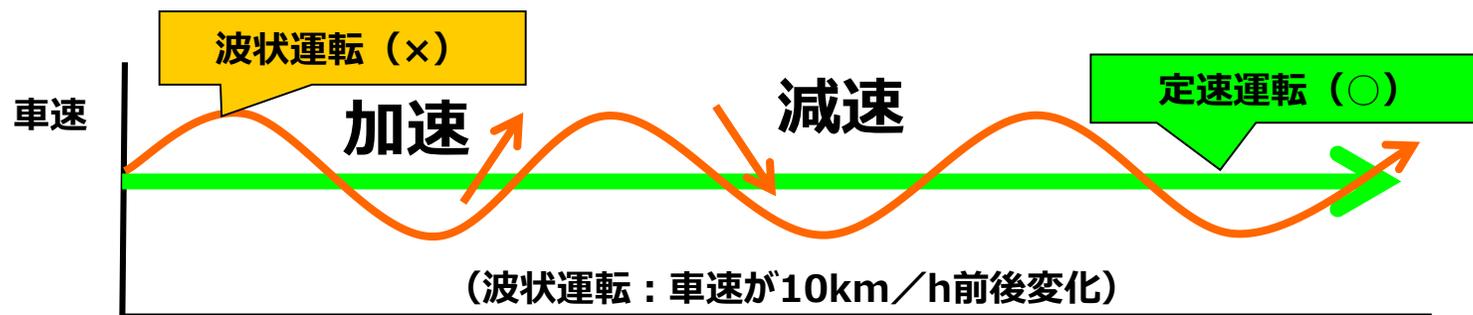
走行速度が**10km/h**上がると燃費は**約10%悪化**

(2) 可能な限り高速ギヤを使用しましょう

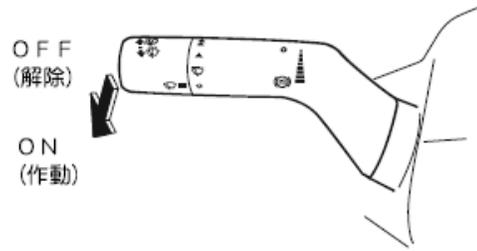
1 速変わると**約10%**燃費が変わります

(3) 目標速度に達したら出来るだけ定速運転を心がけましょう

定速運転に対し下図のように**加速→減速を繰り返す運転（波状運転）**をすると
燃費は**約10%悪化**



(1) 通常はOFFの位置、使う都度ONにして使用しましょう



補助ブレーキONのままだと、
波状運転を助長させる原因に！

※ 補助ブレーキは、フットブレーキの負担軽減、下り坂・高速時に安定した制動が可能など、有難い反面、使い方によって必要以上に減速する場合あり

(2) エンジンブレーキを活用しましょう

アクセルから足を放して惰性で走行している時（エンジンブレーキ状態）、エンジンはタイヤからパワーラインを介して回されており**燃料消費“0”**（無噴射状態）

(3) エンジンブレーキを活用するには、先読み運転がポイントです

信号の状況、車両の状況をよく読み、早めにアクセルから足を放し、**エンジンブレーキを使って惰性で減速しながら最小限のフットブレーキで止まる**のが省エネのコツ

☆活用場面

- ・ 車間が詰まった時、アクセルから足を放して・・・
- ・ 先の信号が変わりそうになったら、アクセルから足を放して・・・
- ・ 坂を下る時、ギヤを1段落とし、アクセルから足を放して・・・

(1) タイヤの空気圧の点検・調整

月に一度は、エア圧ゲージで空気圧を点検、調整しましょう

- ※ 空気圧が低すぎるとバースト（破裂）の原因に！！
タイヤの寿命にも影響する

(2) エアクリーナーの目詰まりチェック

エアクリーナーの目詰まりがないか定期的にチェックしましょう

- ※ 目詰まりすると空気不足となり、燃焼が悪化し燃費が悪化する（約3%）

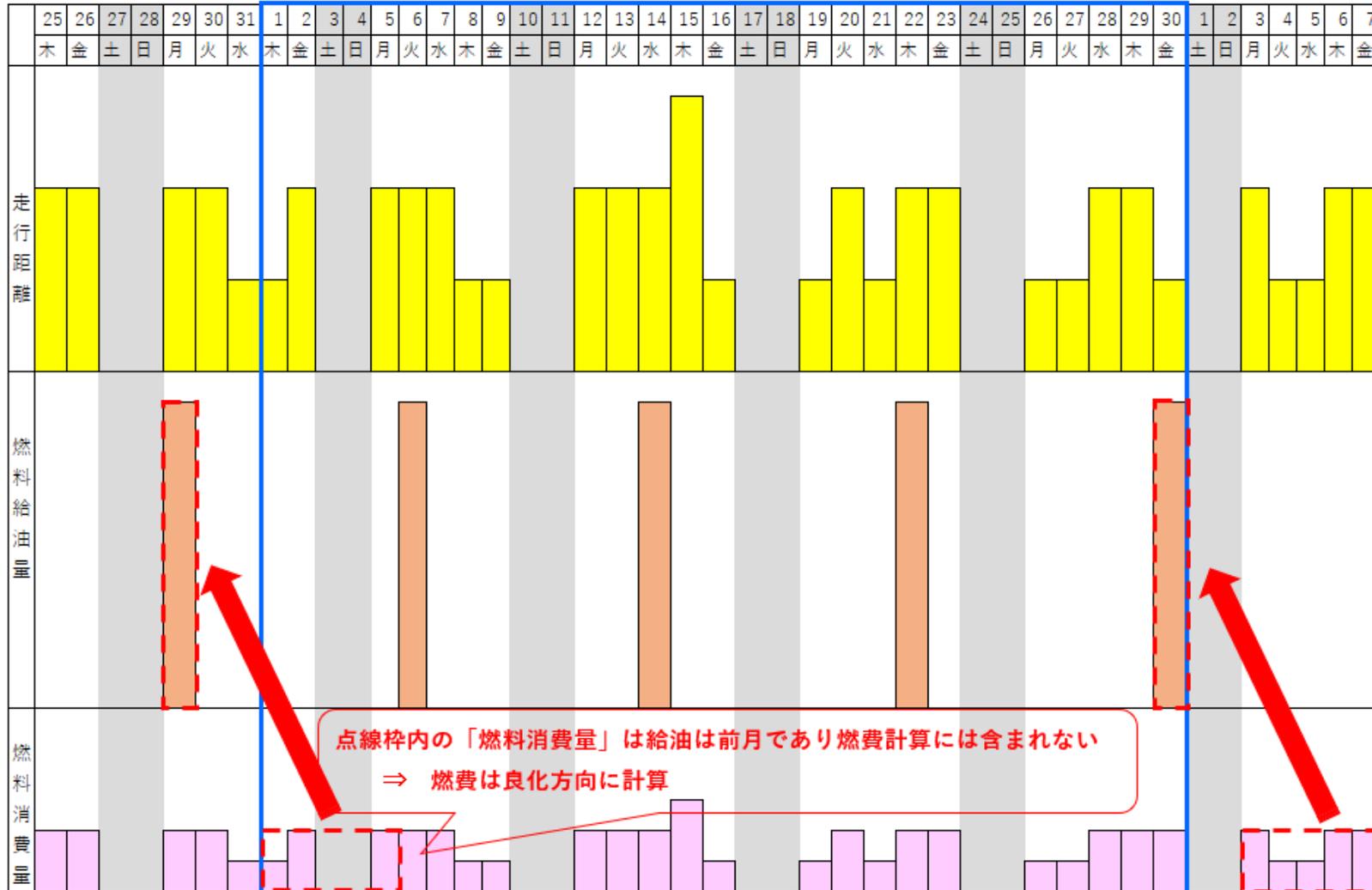
(3) エンジンオイルの定期交換

エンジンオイルは定期的に交換しましょう

- ※ オイルの寿命以上に長く使うと、オイルの劣化がひどくなり、燃費が1～2%悪化する
⇒ オイルが劣化したまま使用するとエンジン寿命が短くなります

No	ポイント	参考データ
1	『無駄なアイドリングはやめよう！』	1時間当たり排気量の10～20%消費
2	『空ぶかしは燃料の無駄！』	空ぶかし一回あたり 大型車で10～12CC 消費
3	『ゆっくり発進、穏やかな加速！』	1回当たり 大型車；70～80 中型車；30～35CCの差
4	『アクセルの踏み込みは少なく、ゆっくり！』	大型車は80%・中型車は50%以下での踏み込み
5	『早めはやめのシフトアップ！』	グリーンゾーン・最高回転の60%目安でU P
6	『速度は控えめに！』	車速を10Km/h押さえると燃費10%削減
7	『可能な限り高段ギヤで走行！』	低エンジン回転走行は省エネ、寿命向上
8	『定速運転に努めよう！』	波状運転：△10Km/h→燃費10%悪化
9	『補助ブレーキのスイッチは必要な都度ON！』	入れっ放しは波状運転の増長一因
10	『減速時はエンジンブレーキ活用！』	エンジンブレーキ時、燃料消費は“0”
11	日常点検：『タイヤ空気圧！』	空気圧10%低下で燃費4%悪化、タイヤ磨耗、パンクの原因に
12	日常点検：『エアークリーナー清掃！』	エレメントが汚れると燃費約3%悪化
13	日常点検：『エンジンオイル交換！』	劣化すると燃費1～2%悪化、エンジンの寿命にも影響
14	『エアコンの冷やしすぎは損！』	健康・省エネ面から温度設定は適正温度に
15	『前日気づいた不具合は修理しましょう！』	路上故障防止・省エネ

燃費計算における燃料は、「消費量」ではなく「給油量」を元に計算しており「給油時期」により良化・悪化に変動することを留意してください



燃費計算式：

$$\frac{1\text{ヶ月（左図では赤枠実線の1～31日）の走行距離}}{\text{燃料給油量}}$$

- ※ 燃費数値への影響（左例）
- ① 前月29日の燃料給油量のうち「1日、2日、5日走行分相当の燃料消費量」は上記計算式には含まれない
 - ② 当月30日の燃料給油量は翌月走行分に相当するがそれが含まれている

点線枠内の「燃料消費量」は給油は前月であり燃費計算には含まれない
 ⇒ 燃費は良化方向に計算

点線枠内の「燃料消費量」は給油したのが月末であり燃費計算に含まれているが消費は少ない
 ⇒ 燃費は悪化方向に計算